

授業の概要等

専攻分野	授業科目	担当教員	内容
療養支援看護学領域	療養生活支援看護学特論	田中 結華 教授 他	療養する人々とその家族、その療養生活を理解し、支援するための理論や概念を検討し、実践と研究への適用を探究する。様々な疾病や闘病過程に生じる多様な課題を持つ人々への看護活動に関する研究への関心と探究力を養う。
	地域療養生活支援看護学特論	後閑 容子 教授 他	地域における高齢者、健康者、療養者に関する看護活動において、活用する概念や理論を踏まえ、高齢者や療養者、家族の看護について探究し、地域における療養生活支援看護に関わる研究への探究心を養う。
	療養生活支援看護学演習	田中 結華 教授 他	療養する人々とその家族が経験する、健康問題、健康課題を文献によって明らかにし、その支援方法および評価を行う。関心のあるテーマを焦点づけ、疑問を明確にして、フィールドワーク・実習を行い、療養する人々とその家族の現象を、生きる場で把握する。これらを基に、対象者が抱える解決困難な問題、その社会情勢なども含めた背景を、関連する様々な理論や概念を用いながら深く思索し、研究課題を明確化する。
	地域療養生活支援看護学演習	後閑 容子 教授 他	地域における高齢者、療養者および難病患者への看護とその家族、コミュニティとのかかわり、健康増進に関する看護活動など、地域での生活者としての視点に基づいた看護を実践するうえでの疑問や問題意識を明らかにする。この問題にかかわる文献検索やクリティーク、プレゼンテーションや討議を通して疑問を明確にする。さらにフィールドワーク・実習の実践活動を行い、疑問としていることを、研究課題へと発展できる能力を養う。
	療養生活支援看護学援助特論	田中 結華 教授 他	療養生活を送る人々と家族のQOL向上に向けた看護実践方法について、関連する科目で学んだ理論や概念を基盤とし、文献検討と事例展開を通して検討する。療養生活を送る上で、人々が必要とする行動の変容や、そのための教育方略、あるいは、急性期からリハビリテーション、終末期といった闘病過程における療養を支援する看護実践を探究する。さらに、これらの看護実践に伴う、対象のアドボカシーへの課題や倫理的問題に対する看護職者の役割と活動についても考察する。
	地域療養生活支援看護学援助特論	後閑 容子 教授 他	高齢者、難病、在宅療養者と家族への看護など地域医療における個人、家族、集団、地域を対象とした看護活動に関する問題などを取り上げ、その問題の背景と現状、課題を文献および実践者への聞き取りなどを通して把握し、今後の看護活動としてのあり方を探究する。
健康発達支援看護学領域	発達支援看護学特論	鎌田 佳奈美 教授 他	成長発達理論、家族関係理論、セルフケア理論など、子どもと家族に関する諸理論や概念を学修し、子どもの文化的背景、社会状況や生活および養育環境との関連の中で子どもと家族の理解を深める。
	女性健康看護学特論	赤井 由紀子 教授 泉川 孝子 教授	周産期を含む、女性のライフサイクル全般にわたる専門的な看護援助、女性の健康増進と健康に関する問題および疑問を解決するために、Evidence-based Medicine/Nursing (EBM/EBN) に基づいた知見を学修する。
	発達支援看護学演習	鎌田 佳奈美 教授 他	発達主体としての子どもとその家族を理解し、健康保持・増進および疾病予防、健康回復にむけた実践における課題、専門職のケアの質の向上に向けた教育に関する課題など、文献検索やクリティーク、プレゼンテーションや討議を通して疑問を明確にする。さらにフィールドワーク・実習の実践活動を行い、疑問や問題としていることを、研究課題へと発展できる能力を養う。

専攻分野	授業科目	担当教員	内容
健康発達支援看護学領域	女性健康看護学演習	赤井 由紀子 教授 泉川 孝子 教授 他	周産期を含む女性の健康保持・増進および疾病予防、健康回復にむけた実践における課題、専門職のケアの質の向上に向けた教育に関する課題など、文献検索やクリティーク、プレゼンテーションや討議を通して疑問を明確にする。さらにフィールドワーク・実習の実践活動を行い、疑問や問題としていることを、研究課題へと発展できる能力を養う。
	発達支援看護学援助特論	鎌田 佳奈美 教授 他	子どもと家族の健康問題・課題を明確にし、発達促進、QOL向上に向けた看護実践方法について、関連する科目で学んだ理論や概念を基盤とし、文献検討と事例展開を通して検討する。さらに、これらの看護実践に伴う、対象のアドボカシーへの課題や倫理的問題に対する看護職者の役割と活動についても考察する。
	女性健康看護学援助特論	赤井 由紀子 教授 泉川 孝子 教授 他	周産期を含む女性の健康に関する看護実践方法について、関連する科目で学んだ理論や概念を基盤とし、文献検討と事例展開を通して検討する。さらに、これらの看護実践に伴う、対象のアドボカシーへの課題や倫理的問題に対する看護職者の役割と活動についても考察する。
共通科目	看護学研究	赤井 由紀子 教授 他	看護学における研究の意義を理解し、看護を論理的・客観的・実証的に捉える視点を学ぶ。看護学研究における2つの基本的アプローチである質的研究と量的研究の概要を理解し、それぞれの方法論の持つ特徴、適用、限界について考察する。さらに、研究論文のクリティーク、研究計画の作成について学ぶとともに、看護学研究の倫理を理解したうえで、研究者としての基本的あり方を学ぶ。加えて、看護実践に結びつく看護学研究のあり方についても考察する。
	チーム医療演習	細田 満和子 兼任講師 他	患者を中心とした安全で良質な医療の実現を目指し、チーム医療を推進できる知識や態度を修得するとともに、フィールドワーク・実習を行って、職種間の相互理解と連携、協働の現状を知り、チーム医療について考えることのできる能力を身につける。チーム医療の構成員としての自身の専門性を活かし、リーダーシップを発揮できる力を養う。
	臨床看護倫理	伊藤 恵子 兼任講師	臨床・教育・研究のあらゆる場における倫理的問題について、看護の実践例を通して、看護における倫理の必要性和重要性を考察する。加えて、倫理的問題の分析を実践的に学び、看護師としての対応のあり方、役割と機能を考察する。
	フィジカルアセスメント特論	小崎 篤志 教授	疾病を病因や臓器別病態から考えるのではなく、患者の示す様々な症状や診察所見の評価から分析・分類(フィジカルアセスメント)して意味づけをする方法論を修得する。これらの方法論の学修を通して、フィジカルアセスメントからの診断推論およびその対処法についても修得する。また、それに必要な知的基盤としての病態生理を学ぶ。
	疾病・病態特論	小崎 篤志 教授	看護において、身体の構造や機能の障害である疾病の病態を理解する事は重要である。本特論は、自立した上級看護実践者および研究者として必要な疾病診断および治療を実践するための知的基盤として、疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法などの最新知識を修得する。さらに、これらに基づいた臨床推論能力と問題解決能力を養う。

専攻分野	授業科目	担当教員	内容
共通科目	薬物治療学特論	荻田 喜代一 教授 (薬学研究科)	臨地で実施される薬物療法に関する知的基盤および実践的能力を身につける。すなわち、適用薬物に関する情報を収集し、そのエビデンスに基づいた薬物治療(投与量や投与法の選択、投薬後モニタリング、副作用の予防・早期発見など)を実践できる能力を養成する。加えて、患者個々に対する個別的な薬物治療に必要な看護師としての判断について学修する。さらに、臨地における薬物の有効性・安全性の評価について、乳幼児、妊婦、高齢者などの事例を用いて学修する。
	医療経済特論	田井 義人 准教授 (経済経営学研究科)	経済・経営管理の諸理論を理解し、保健・医療・福祉における経済・経営的思考を修得するとともに、政策構築に関する考察ができる力を養う。そのために保健医療福祉と経済論、ヘルスケアサービスの経営管理・経済性、看護経営の今後のあり方などの視点から考察する。
	地域医療防災演習	池内 淳子 准教授 (理工学研究科) 他	被災地において被災者の健康維持支援を行う看護師・助産師の役割について学ぶ。はじめに自然災害の発生原因について学習し、拠点施設の室内空間構成や被害事例について、また、都市における拠点施設の空間分布などについて理解を深める。次に、阪神・淡路大震災や東日本大震災における事例を基に、災害看護および被災者・支援者のメンタルケアの重要性を理解する。地域での避難所運営訓練などに参画することで、地域防災に寄与する看護師・助産師としての知識・技能を身につける。
	看護人間工学特論	川野 常夫 教授 (理工学研究科)	人間工学は、人間の心理、生理、身体の特性を踏まえ、それらの観点から機器の設計や人間の動作解析などを行う学問である。本科目では、まず人間工学の基礎知識や方法論などを学修し、次いで看護や介護の場における人間工学の役割、医療機器・介護機器などのユーザビリティ評価方法、看護・介護に必要な動作の解析評価方法などについて理解する。
	看護教育特論	神戸 美輪子 教授	現代における看護教育の課題と解決方法を探究し、看護教育の教授活動を展開するために必要な基本的知識を修得することを目的とする。教育学の基礎理論である教育原理や成人教育理論の知的基盤を学び、看護教育課程の編成、授業設計、教育方法、評価方法について理解する。
	看護教育方法演習	神戸 美輪子 教授 他	看護教育制度を支える法および関連法規を基に、看護教育制度の特徴を理解する。学校教育制度と看護師養成教育の2つの側面から看護学教育課程構築の基礎を学び、臨地実習における指導も含めた授業展開の計画、方法、評価方法について考察する。
	看護現任教育特論	神戸 美輪子 教授 他	看護職者の特性を理解して、その学習ニーズと看護継続教育についての現任教育のあり方について理解する。現任教育の現状と課題を明らかにした上で、成人学習者である看護職者を対象とした院内教育の計画立案、教育方法、評価方法について検討する。